

家庭・地域の
延長線上

学習指
導要領

郷土愛とは

津島の達人 ジュニア検
定 研究の方向
テキストの作成

テレビ (CATV) によ
る番組制作

ふるさと検定までの取組

テキストの作成

出前授業の実施

成果と課題

偏狂なナショナリ
スムではない



郷土を愛する心を育
てるための一考察
— 『ふるさと』 検定
の実践を通して —

大学生ボラン
ティアの参加

ユネスコ無形文
化遺産登録へ

テキスト作成

新たな祭り検定へ
の取組

新しい検定の取組

結果の分析・成果と課題

子どもたち
の感想

5年間のデータ分析

教育論文の書き方

—実践を振り返り、書きながら考え、新たな実践を
創り出すために —

- (1) 教育論文はエッセーでない。自分の論を展開する説明文である。
- (2) 教育論文は一人よがりの文章ではなく相手に自分の意見を伝える文章である。
- (3) 教育論文は読書感想文ではなく、参考書籍は論を展開する材料にすぎない。
- (4) 教育論文は、実践を振り返り成果と課題を明らかにすることを目的とする。



津島市立南小学校

浅井 厚視

教育論文で最初に考えること



研究の枠組み（領域）	
何について書くのか テーマ（主題）	
研究で明らかにしたいことは サブテーマ	
研究仮説（実践の視点）	
研究の方法は ？	
研究（実践）の方法	
研究（実践）の計画	

研究主題（テーマ）の決定



- | | |
|-------------|---------|
| ①研究のめざす姿 | 「～育てる」 |
| ②研究の対象領域・分野 | 「～おける」 |
| ③研究の方法（手だて） | 「～を通して」 |

- ア 研究主題で①めざす姿を サブテーマで②研究対象領域を
- イ 研究主題で③手だてを サブテーマで①研究の方向・目標を
- ウ 研究主題で①研究のねらいを固定し サブテーマで年次を

主題 ～を育てる ～を目指す ～科学習指導 ～の研究
【研究のめざす姿・対象領域・分野】

サブテーマ ～を通して ～を中心に 【手だて】

※ これらの要素を考えてテーマの作成を行うこと

研究仮説の決定

研究仮説とは

仮説検証的教育論文における仮説は、

□□において ○○を●●すれば △△となるだろう
【教科・領域等】 【手だての工夫】 【ねらい・めざす子ども像】
場・内容 改善点・独自性 検証方法の確立

- ①どこで（対象・場） ・ ・ ・ ・ 研究の領域を限定する
- ②何をどのようにすることによって（内容・方法上の工夫）
・ ・ ・ ・ 研究の重点を集め、集中させる。オリジナルの面を
- ③どう現状を変えようとするのか（子どもの変容の姿）
・ ・ ・ ・ 研究の結果を予測し、研究の筋道を立てる。

研究仮説を作成するならば・・

研究仮説

研究の手だて

(1)

(2)

研究のオリジナリティーは



具体的な手だてを書こう

研究の実際と考察の書き方

・ ・ ・において、〇〇させたことが、子どもが▽▽させていく上で、□□（有効・有効でない）である。

【発言】「・ ・ ・」という発問に対して、「〇〇」「▽▽」という発言が見られ・ ・ ・。A児は・ ・ ・。B児は・ ・ ・。

【ノート・作品】・ ・ ・について記述させた際に、「〇〇」「▽▽」と、・ ・ ・記述した生徒が□%いたから判断した。A児は・ ・ ・。B児は・ ・ ・。

【活動】「・ ・ ・」という指示（発問）した際に、全体の□%（何人）の子どもが・ ・ ・していた。A児は・ ・ ・。B児は・ ・ ・。

○ 実践を『考察』していく視点

- ・ 主題、仮説、研究の手だて、検証方法を要約し、教育実践による事実をもとに、自分の考えや新たな発見を展開させる。
- ・ 仮説が正しかったかどうかについて、研究の手だてから検証していく。
- ・ 手だてに応じた「子どもたちの反応や変容」を分析する。

○ 今後の成果と課題 わかりやすく箇条書きで

- ・ 仮説をもとに実践を分析し、結論として言えることを明確にする。
- ・ 次の実践につながる課題を
- ・ 1学級1単元だけの実践を一般化してほしくない。
(継続研究を)